



津幡町立津幡中学校

Taketa Junior High School

学校だより

さわやか

令和7年12月25日 <終業式号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



飛躍の2学期を終えて～「協働」と「自律」の力を未来へ～

校長 池島 隆久

2学期の終業式を迎えるました。この約4か月間、生徒の皆さんのがんばりと困難な中でも粘り強く取り組む姿には、深い感銘を受けました。多岐にわたる活動の中で、生徒たちが大きく成長させた力は、「協働の力」と「自律的に行動する力」だと感じています。

協働の力が生んだ成長と感動

運動会、新人大会、合唱コンクールといった大きな行事では、仲間と声をかけ合い、支え合う「協働の力」が感動を生みました。勝敗以上に、その過程で育んだ絆こそが、何物にも代えがたい大切な財産です。

「傾聴」の姿勢と3年生の模範

10月、11月は学習にじっくりと向き合う時期でした。授業では、互いの話を丁寧に聞く「傾聴」を意識しながら、話し合いや議論を通して、仲間と学びを深める姿が多く見られました。特に、進路と向き合う3年生の集中力と真摯な姿勢は、1、2年生にとって最高の模範となりました。不安と向き合いながらも、目標に向けて努力を続ける上級生の姿は、全校生徒に良い影響を与えています。

校訓「自治」と「けじめ」の徹底

改めて「けじめ」と校訓「自治」の大切さを考えてほしいと思います。年末年始の開放的な時期だからこそ、「けじめ」の意識が自身を律し、成長させます。また、「自治」とは、「自分たちの課題を、自分たちで考え、決め、責任をもって行動すること」です。部活動や学習において、「なぜそれを行うのか」「どうすればもっとよくなるのか」を考え、自分事として取り組むことで、「やらされている」活動は「自分たちの活動」へと変わります。

未来は自らの行動で切り開く

未来は、誰かが与えてくれるものではありません。自ら考え、判断し、行動した先に、切り開かれていくものです。生徒の皆さんには、2学期に育んだ「協働の力」と「自律的に行動する力」を大切にしながら、充実した冬休みを過ごしてほしいと願っています。

★自治について考える（「自治」についてのアンケートから）

「自治」とは、自分たちの課題を、自分たちで考え、責任をもって決め、実行すること。「自治」を意識することで、「自律的に行動する力」が育っていきます。そして、その力は「未来を切り開く」基盤となります。

1. 授業・学習でのステップアップ

課題	解決策
・私語が多くて授業に集中できない ・発表しない人が多い	・授業のルール（チャイム着席、私語をしない）を守り、学習の土台をしっかりとつくる
・先生の指示がないと動けない ・受け身の姿勢になってしまふ	・友達の話を最後まで傾聴し、ペアやグループの話し合いに積極的に参加する ・自分の考えを発信する「伝える勇気」を持つ ・課題や目標を理解する
・授業や係活動が「やらされている」と感じ、意欲が出ない	・活動の必要性を理解し、自分の役割が学級のために必要なこととして取り組む
・休み時間と授業の切り替えが遅く、集中力がない	・休み時間と授業の区別（けじめ）をつけ、すぐに集中できるリズムをつくる ・集合や整頓をテキパキ行い、時間を意識する

2. 部活動・集団活動でのステップアップ

課題	解決策
・練習中に集中できない ・真剣に取り組めない部員がいる	・部員全員で話し合い、活動の方針や目標を決定するプロセスに参画する ・目標を「自分ごと」として捉え直す
・練習の開始が遅れる ・ダラダラとしてしまう	・早く準備し、練習時間を確保する ・練習時間を事前に確認して守る ・練習に入るルーティンを決めるなどして休憩時間の「けじめ」をつける
・上級生が後輩に注意できない ・指示が一方的になってしまふ	・上級生は率先垂範し、手本を示す ・後輩が理解し、動きやすくなるような指導や声かけを意識する
・困っている人がいるのに声をかけられないなど、関係が希薄	・挨拶や礼儀を徹底し、協力し合える関係をつくる ・困っている仲間がいれば助ける ・先輩、後輩が意見を出し合える関係を築く